

平成 16 年 10 月 26 日
独立行政法人 経済産業研究所

RIETI 政策シンポジウム

「女性が活躍できる社会の条件を探る」

平成 16 年 11 月 9 日(火) 9:50-17:40 於機械産業記念会館 (TEPIA)

女性が職場に参加して能力を十分に発揮するためには、1)労働市場に入る前の要因としての教育、2)労働市場すなわち主として職場で発生する問題、および、3)本人と家族との関わり、においてさまざまな制約があります。

これまで、2)の労働市場に関しては、雇用機会均等法による法的環境整備が、また、2)の労働市場と3)の家族の両方に関わる問題として重要な「仕事と子育ての両立」に関して、育児・介護休業法や保育所の整備等による外的支援環境整備が、均等法成立以前に比べると一定の前進を見ました。それにもかかわらず女性の登用が進まないのはなぜでしょうか。

本シンポジウムでは、労働市場や子育ての外的支援環境に残る問題点を踏まえつつも、従来、政策論としては十分には議論されてこなかった、1)の教育の役割、および、3)の本人と家族との関わりにおける問題点に焦点を当て、また、2)の労働市場に関しても、女性の就業形態は男性型のキャリアばかりではなく多様な形態がありうることを踏まえるなど、新たな視点からの議論を行います。

記

1. 日時：平成 16 年 11 月 9 日(水) 9:50-17:40
2. 会場：機械産業記念会館 (TEPIA) TEPIA ホール (東京都港区北青山)
<http://www.tepia.or.jp/flash/intro/map.html>
3. 開催言語：日本語
4. 参加費：1,000 円[公印を捺印した領収書を発行いたします。]
5. 主催：独立行政法人経済産業研究所
6. プログラム・スピーカー (詳細は <http://www.rieti.go.jp/jp/events/04110901/info.html>)
 - イントロダクション 橋木俊詔 (RIETI 研究主幹・ファカルティフェロー・京都大学教授)
 - セッション 1: 子育てと女性の就業 国際比較から見た日本の子育て支援策の特色と男性の育児参加の必要性・白波瀬佐和子 (筑波大学助教授)・松田茂樹 (第一生命経済研究所ライフデザイン研究本部副主任研究員)・永瀬伸子 (お茶の水女子大学助教授)
・落合恵美子 (京都大学教授)
 - セッション 2: 女性の活躍と教育のあり方 女性教育のあり方が就業に与える効果と母親が子供の教育に果たす役割・本田由紀 (東京大学助教授)・木村涼子 (大阪大学助教授)
・尾嶋史章 (同志社大学教授)・清水明 (文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課長)
 - セッション 3: 女性のキャリアと経済効率 女性が職場に多いことの経済効率性と女性の働き方の多様化の可能性・武石恵美子 (ニッセイ基礎研究所上席主任研究員)
・中田大悟 (横浜国立大学講師)・金子能宏 (国立社会保障・人口問題研究所部長)
・富田安信 (大阪府立大学教授)・児玉直美 (経済産業省大臣官房企画室企画主任)
 - セッション 4: 総括パネルディスカッション・名取はにわ (内閣府男女共同参画局長)
・篠塚英子 (お茶の水女子大学教授)・橋木俊詔 (RIETI 研究主幹・ファカルティフェロー・京都大学教授)

以上

【シンポジウム参加お申し込み・お問い合わせ】

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/04110901/info.html>

RIETI コンファレンス担当 片桐由紀 (conf-womenlabor@rieti.go.jp) Tel:03-3501-8398

【取材等のお申し込み・お問い合わせ】

RIETI 広報企画担当 (info@rieti.go.jp)Tel:03-3501-1375 Fax:03-3501-8416